

第2号様式

会 議 議 事 録

1 会議名	第10回長岡市入札・契約制度に関する検討委員会
2 開催日時	令和元年9月20日（金曜日） 午前11時から午前11時50分まで
3 開催場所	アオーレ長岡 東棟4階 大会議室
4 出席者名	(委員) 沢田委員長 鯉江委員 櫻井委員 中村委員 並木委員 (事務局) 佐藤入札・契約制度改革担当部長、小嶋財務部長ほか関係職員
5 欠席者名	なし
6 議題	1 開会 2 討議 3 閉会
7 会議資料	別添のとおり
8 議事概要	別添のとおり

第10回長岡市入札・契約制度に関する検討委員会 議事概要

- ・はじめに、「多様な入札制度」の長岡市での導入について、討議を行った。
- ・配付の「資料No. 1」に示された入札方式のいずれかを導入するということであれば、建設事業者の平等性が確保できる観点から「公募型指名競争入札」あるいは「工事希望型指名競争入札」が適当と考えるという意見があった。また、同じ意見であるが、実施している市の状況をよく調査する必要があるという意見があった。
- ・競争性の確保や効率性の点では、「工事希望型指名競争入札」が適当と考えるが、事業者の受注希望や意欲は変化するため、ミスマッチも起こるのではないかとの意見もあった。
- ・競争性確保の観点から、入札者の母数がある程度確保できる制度が望ましいと考えるが、(配布の「資料No. 1」の例示のうち)どの方式が優れているのか、また長岡市の実情に合っているのか判断がつかないという意見があった。
- ・現状、長岡市では、大別すると一般競争入札と指名競争入札の2種類であるが、「公募型指名競争入札」あるいは「工事希望型指名競争入札」を選択肢の一つとして備えておくべきとの意見があった。
- ・以上の討議の結果、公平性、透明性を高める観点から、「公募型指名競争入札」及び「工事希望型指名競争入札」について、制度を導入している自治体の事例を調査・研究し有用性を確認したうえで、長岡市の実情に合ったやり方での導入の検討を進める、という方向での提言が望ましいという意見で一致した。
- ・次に、前回までの討議項目の提言（最終報告）内容及び提言（最終報告）の構成についての内容確認が行われ、事務局案が適当という意見で一致した。
- ・最後に、提言（最終報告）の最終確認について、事務局が各委員に持ち回り行うこと、また、市長への手交については、中間報告時と同様に委員長が代表して行うことで了承を得た。